

きき酒会の記録

総会に続いて生協食堂において「きき酒会」を行った。三名一組となり約二十組が参加した。

概略は以下のようであった。

一、出題者
三重県工業試験場 鈴木部長、坪内課長

二、賞品
井村屋製菓、ヤマモリ

三、順位
一位 教官B(奥村、柏村、梅林)

二位 大20回(西川、渡辺、田中)

三位 大1回(岡本、福田、吉田)

〇位 大32回(升井、原夫妻)

個人上位者
八点満点・奥村(教官)
六次・北岸(教官) 柏村(教官) 中川(専2) 鳥羽(大2) 石原(大7) 小畑(大15) 杉崎(大16) 西川(大20) 中北(大27) 向原(大34)

四、総評
鈴木・坪内両氏のお世話で楽しませていただきました。この遊びの中で感想を一言。若き鋭敏なバイオセンサー奥村教官。未だ感度の衰えぬ北岸教官。女性上位の杉崎夫妻(大16)。酒ならば味はどうでもよい専1の諸兄。上位11名中に三重大学教官が五名はなぜ? 点数は気にしないで次回にはまた陽気にやりましょう。(嶋田記)



優勝のよるこびに笑う教官Bチーム
(中央で偉そうにしている奥村教官の頭にはバイオセンサーが立っている)

虫に魅せられて

(農芸化学会奨励賞受賞記念のため投稿を依頼した)

昭和47年卒 西田 律夫

今はほとんど姿を消してしまつたが、私が学生であつた二十年前にはキャンパスの付近にもジャコウアゲハという大型のアゲハチョウが優雅に飛んでいた。アゲハが幼虫時代ミカン科植物に寄生するのに対してジャコウアゲハはウマノスズクサという蔓草のみを食草としていた。これらの母蝶は、自分の寄主植物を的確に探し、幼虫の好みそうな若葉に卵を産みつける。いったい何を手がかりに産卵対象となる植物を正確に見つけ出しているのだろうか。このような疑問を抱いたのはちょうど快く認めて下さつた。産卵刺



食草ウマノスズクサの抽出物を浸した戸紙片に産卵するジャコウアゲハ (イラストは筆者)

うどその頃であつた。学生実験の合間にウマノスズクサの葉をアルコール抽出してみた。その抽出エキスを濾紙片に浸し、自分の部屋に放つていたジャコウアゲハに示すと、チョウは狂つたようにその濾紙片に卵を産み始めた。同様のことをミカン葉の抽出物で行うと、この場合はアゲハに対してだけ産卵を促した。抽出エキスの中に産卵を刺激する特異的な化学成分があることは疑いない。興奮した足で、さっそく熊澤先生に相談したところ、卒論のテーマとして快く認めて下さつた。産卵刺

その後、昆虫生理活性物質の研究に先駆的であつた京都大学農学部付属農業研究施設大学院に入学した。与えられたテーマは、ゴキブリの性フェロモンの研究であつた。昆虫が好きな私にもこれは予想外で、青春の五年間ゴキブリと付き合うことになつてしまつた。チャバネゴキブリを数十万匹の単位で飼育されては、意外にも水溶性であることが判明した。しかし、どういふ訳か、その化学的挙動は気まぐれで、分離・精製を進めてゆくうちに所在がわからなくなつてしまつた。試行錯誤の末、結局目的物質の単離に至らぬまま卒業式を迎へてしまつた。

その後、昆虫生理活性物質の研究に先駆的であつた京都大学農学部付属農業研究施設大学院に入学した。与えられたテーマは、ゴキブリの性フェロモンの研究であつた。昆虫が好きな私にもこれは予想外で、青春の五年間ゴキブリと付き合うことになつてしまつた。チャバネゴキブリを数十万匹の単位で飼育されては、意外にも水溶性であることが判明した。しかし、どういふ訳か、その化学的挙動は気まぐれで、分離・精製を進めてゆくうちに所在がわからなくなつてしまつた。試行錯誤の末、結局目的物質の単離に至らぬまま卒業式を迎へてしまつた。

「行ってきます！」朝礼後、すぐに上司と今日、明日の予定について簡単に打ち合わせを行い、あわただしく会社を出た。今から泊まりがけで東京出張、厚生省業務課事務局に向かうのである。開発中の医薬品について、処方案が薬事法上妥当か否か、申請にあたり、どのような資料が必要かを質問するためである。医薬品を新しく開発する場合には、「医薬品製造指針」という本のルールに従わなければならないことが決められている。しかし、製造指針だけではわからない点もあるため、厚生省は週一回、面会日を決め、各企業の質問に答えることになつていく。新幹線で三時間、いつも伊吹山、浜名湖、富士山が近くと不思議と目がさめるが、この時がチャンスとばかり、東京まで気持ちよく寝て過ごす。

「行ってきます！」朝礼後、すぐに上司と今日、明日の予定について簡単に打ち合わせを行い、あわただしく会社を出た。今から泊まりがけで東京出張、厚生省業務課事務局に向かうのである。開発中の医薬品について、処方案が薬事法上妥当か否か、申請にあたり、どのような資料が必要かを質問するためである。医薬品を新しく開発する場合には、「医薬品製造指針」という本のルールに従わなければならないことが決められている。しかし、製造指針だけではわからない点もあるため、厚生省は週一回、面会日を決め、各企業の質問に答えることになつていく。新幹線で三時間、いつも伊吹山、浜名湖、富士山が近くと不思議と目がさめるが、この時がチャンスとばかり、東京まで気持ちよく寝て過ごす。

「行ってきます！」朝礼後、すぐに上司と今日、明日の予定について簡単に打ち合わせを行い、あわただしく会社を出た。今から泊まりがけで東京出張、厚生省業務課事務局に向かうのである。開発中の医薬品について、処方案が薬事法上妥当か否か、申請にあたり、どのような資料が必要かを質問するためである。医薬品を新しく開発する場合には、「医薬品製造指針」という本のルールに従わなければならないことが決められている。しかし、製造指針だけではわからない点もあるため、厚生省は週一回、面会日を決め、各企業の質問に答えることになつていく。新幹線で三時間、いつも伊吹山、浜名湖、富士山が近くと不思議と目がさめるが、この時がチャンスとばかり、東京まで気持ちよく寝て過ごす。

「行ってきます！」朝礼後、すぐに上司と今日、明日の予定について簡単に打ち合わせを行い、あわただしく会社を出た。今から泊まりがけで東京出張、厚生省業務課事務局に向かうのである。開発中の医薬品について、処方案が薬事法上妥当か否か、申請にあたり、どのような資料が必要かを質問するためである。医薬品を新しく開発する場合には、「医薬品製造指針」という本のルールに従わなければならないことが決められている。しかし、製造指針だけではわからない点もあるため、厚生省は週一回、面会日を決め、各企業の質問に答えることになつていく。新幹線で三時間、いつも伊吹山、浜名湖、富士山が近くと不思議と目がさめるが、この時がチャンスとばかり、東京まで気持ちよく寝て過ごす。

「行ってきます！」朝礼後、すぐに上司と今日、明日の予定について簡単に打ち合わせを行い、あわただしく会社を出た。今から泊まりがけで東京出張、厚生省業務課事務局に向かうのである。開発中の医薬品について、処方案が薬事法上妥当か否か、申請にあたり、どのような資料が必要かを質問するためである。医薬品を新しく開発する場合には、「医薬品製造指針」という本のルールに従わなければならないことが決められている。しかし、製造指針だけではわからない点もあるため、厚生省は週一回、面会日を決め、各企業の質問に答えることになつていく。新幹線で三時間、いつも伊吹山、浜名湖、富士山が近くと不思議と目がさめるが、この時がチャンスとばかり、東京まで気持ちよく寝て過ごす。

「行ってきます！」朝礼後、すぐに上司と今日、明日の予定について簡単に打ち合わせを行い、あわただしく会社を出た。今から泊まりがけで東京出張、厚生省業務課事務局に向かうのである。開発中の医薬品について、処方案が薬事法上妥当か否か、申請にあたり、どのような資料が必要かを質問するためである。医薬品を新しく開発する場合には、「医薬品製造指針」という本のルールに従わなければならないことが決められている。しかし、製造指針だけではわからない点もあるため、厚生省は週一回、面会日を決め、各企業の質問に答えることになつていく。新幹線で三時間、いつも伊吹山、浜名湖、富士山が近くと不思議と目がさめるが、この時がチャンスとばかり、東京まで気持ちよく寝て過ごす。

「行ってきます！」朝礼後、すぐに上司と今日、明日の予定について簡単に打ち合わせを行い、あわただしく会社を出た。今から泊まりがけで東京出張、厚生省業務課事務局に向かうのである。開発中の医薬品について、処方案が薬事法上妥当か否か、申請にあたり、どのような資料が必要かを質問するためである。医薬品を新しく開発する場合には、「医薬品製造指針」という本のルールに従わなければならないことが決められている。しかし、製造指針だけではわからない点もあるため、厚生省は週一回、面会日を決め、各企業の質問に答えることになつていく。新幹線で三時間、いつも伊吹山、浜名湖、富士山が近くと不思議と目がさめるが、この時がチャンスとばかり、東京まで気持ちよく寝て過ごす。

「行ってきます！」朝礼後、すぐに上司と今日、明日の予定について簡単に打ち合わせを行い、あわただしく会社を出た。今から泊まりがけで東京出張、厚生省業務課事務局に向かうのである。開発中の医薬品について、処方案が薬事法上妥当か否か、申請にあたり、どのような資料が必要かを質問するためである。医薬品を新しく開発する場合には、「医薬品製造指針」という本のルールに従わなければならないことが決められている。しかし、製造指針だけではわからない点もあるため、厚生省は週一回、面会日を決め、各企業の質問に答えることになつていく。新幹線で三時間、いつも伊吹山、浜名湖、富士山が近くと不思議と目がさめるが、この時がチャンスとばかり、東京まで気持ちよく寝て過ごす。

「行ってきます！」朝礼後、すぐに上司と今日、明日の予定について簡単に打ち合わせを行い、あわただしく会社を出た。今から泊まりがけで東京出張、厚生省業務課事務局に向かうのである。開発中の医薬品について、処方案が薬事法上妥当か否か、申請にあたり、どのような資料が必要かを質問するためである。医薬品を新しく開発する場合には、「医薬品製造指針」という本のルールに従わなければならないことが決められている。しかし、製造指針だけではわからない点もあるため、厚生省は週一回、面会日を決め、各企業の質問に答えることになつていく。新幹線で三時間、いつも伊吹山、浜名湖、富士山が近くと不思議と目がさめるが、この時がチャンスとばかり、東京まで気持ちよく寝て過ごす。

今私は... 厚生省訪問

西本 和実(大33)

東京で営団地下鉄丸の内線に乗る。霞が関で降りる。霞が関駅と厚生省の庁舎とは地下通路で直結しており、駅からそのまま庁舎に入ることができる。面会するためには、前日に訪れて順番を取る必要がある。今正午、午後五時まで接見室の待合室の椅子に座って並ぶ。ポツポツと来ないのは悔しいが、早目に来ないと、他企業の人がちがいで並んで、希望の時間を取れない。最近退屈しないように本を数冊持っていくことにしている。

やっと五時になった。女子職員が順番に面接希望時間を紙に記入させ、同時に翌日提出する質問事項記入用紙を配布する。一日目は順番取りだけでツブれてしまう。やらねばならない実験が山積みしているのに...

社会人になって

寺西 秀美(大37)

社会人になってはや四か月が経ちました。学生から社会人へと急激な変化に適応できずに悩んで過した一時期がありました。今はほんのその、現住民のような顔をして職場にしっかりと根をおろし日々奮闘しております。

私は、滋賀県農協中央生活課に勤務しております。県の農協は中央会と三つの連合会(信用、共済、経済)から組織されています。中央会は連合会の指導を事業とし、企業と違った経営体系を持っています。

ここ数年、食品の安全性が問われている記事が新聞紙面にぎあわせていると思います。例えば、輸入食品のポストハーベスト問題、食品添加物の発ガン性、催奇形性の問題、牛への成長ホルモン投与問題など。

そこで、滋賀県農協は全国に先駆けて、安全な食品(低農薬の国産農産物や低・無添加加工

職場風景

尾鷲保健所 市川 博睦(院修3)

「主人をとらないで」きのう女から電話がかかってきて、突然やられた。「え、なんでですか?」って、うろたえてしまった。へんな言い方ばかりをつけてきて。今度電話があったらはどうしようか。

「どこでどう勘違いしたのか、夫の浮気相手と思込んで電話してきた女がいて、他にも無言電話があったという。彼女は三十二歳、小学生になる男の子が働いている。このために貴重な二日間が丸々パーになってしまった。また仕事が遅れてしまった。一日目の順番取りが、東京の内勤がバイトにやらせたらどうなんだ...お役人に会うのもこのように大変なのである。(小林製菓(株)勤務)

社会人一年生

近では、魚の鮮度恒度(K値)を測定したり、ソルビン酸、BHAを検出するテストをし、新予約の商品と市販品の安全性の違いを確かめて頂きまして、農協批判があらちこちでかかれています。これから農協が生き残るためには、生活事業(

物故者

前田 尚氏(専2)は平成元年二月十八日病歿されました。





敗戦後の日本再興のため、食糧政策が国民的課題となり、二

四十年前をしのぶ旧専会 初めての催し大盛況

ビがかたまり、ラボスケール、パイロットスケール、最終的に

朴かつ単純な道具を使い、どのように組み立て、改良し、利用

発表のほか、研究報告書、特許の作成もつて行われる。女性

この新設学科は、三回生を送り出したのみで、その卒業生も

昭和三十二年四月戦後の混乱と廃墟のなかで、三重農林専門

い今後の活躍と健勝を期するの

あることを痛感いたします。

が思い出されます。その意味で

が思い出されます。その意味で

が思い出されます。その意味で

が思い出されます。その意味で

大36クラス 第1回クラス会記

光陰矢の如し、時の過ぎ行くのは速いもので、我々大36クラ

強、尾崎安直、勝崎裕隆、神谷

今年、我々大七回生は卒業

大七回 クラス会

大七回 クラス会

大七回 クラス会

会長挨拶(第一面)にもありますように、会の運営には

大七回 クラス会